

報告日 令和7年6月18日

報告回次 3日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岩見沢市立幌向小学校			代表者名	國行 宏昭
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	研修部	連絡先電話番号	0126-26-2100
担当者役職	教諭	担当者氏名	佐藤 麻里子	連絡先E-mail	
住所	069-0372 北海道岩見沢市幌向南2条1-180				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	探究的な学びを深める授業におけるICTの活用研修		
概要	探究的な学びを深める授業におけるICTの活用について支援していただきたい				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 生成AI活用 教育情報化／情報教育				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月12日	支援・助言(実地)	10時30分	15時30分	60
				活動時間（分）	240

2-2.

派遣場所	会場名	岩見沢市立幌向小学校	最寄駅	幌向駅
	所在地	北海道岩見沢市幌向南2条1-180	最寄駅からの交通手段	送迎

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	令和の日本型学校教育を実現する授業のあり方や探究的な授業を実践する上で、本校の課題や先生方の疑問等を踏まえ、それに具体的に応える形で、他校の実践例も示しながら分かりやすくお話して下さった。研修を受けた先生方からは、「大変勉強になった。」「有意義な時間であった。」「早速校内で授業づくりの推進に取り組む」というような感想が聞かれた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	35人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	35	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・探究的な学びの授業づくりにおける教員間の実践・意識の差があり、授業実践にばらつきがある。 ・主体的に学ぶためのスキルが十分に育っておらず探究活動の深まりに課題がある。 ・教室内外における掲示物、資料の共有、探究のプロセスを支援する視覚的・物理的な環境の整備不足 ・セカンドGIGAに対応した情報活用能力の育成が不十分である。 ・全校で一貫した情報モラル教育のさらなる充実
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・探究的な学びの授業の必要性を全教職員が理解し、協力し合いながら授業づくりを行い、学校全体として授業実践を積み重ねていける。 ・児童・生徒が主体的に学習を進め、その中でタブレット端末を有効に活用した授業ができるようになるスキルを育成する。また、セカンドGIGAに対応した情報活用能力を身に付ける。 ・児童・生徒も教師もICT活用能力が向上することで、子どもたちを支える保護者、地域住民にも情報活用能力が汎用され、より適正に情報を扱うことで、幸せな生活を送ることができることを成果とする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)		令和の日本型学校教育、GIGAスクールの教育改革の原点に立ち返った授業改善、探究的な学びについてお話いただいた。また、児童・生徒主体の授業づくり実現のために、子どもに学び方を教え、鍛えた上で探究型の授業をすることとその実践例を紹介いただいた。教室内外における掲示物、探究のプロセスを支援する視覚的・物理的な環境の整備についてご指導いただいた。フローチャート型指導案の利点や書き方、教職員みんなでつくる指導案について実践校の話題を交えてお話いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)		藤村アドバイザーの講演を聴き、教職員全体の授業づくりへの熱量が上がったと感じる。幌向小では探究型授業のプロセスやふりかえりの観点を示す掲示物の整備、豊中学校で小学校との接続も意識しながら探究のプロセス表を作成していくことが確認された。また、7月に行われる授業研に向けた授業づくりにおいてフローチャート型指導案をみんなで作成していくこと、タブレット端末を子ども一人ひとりがしっかり考え、練り合い、主体的に問いを解決していくための手段として活用していくことが確認された。	
具体的な成果物		最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
		今後もオンライン等で助言頂き、11月の公開研究会で今回指導を受けた授業改善の成果を報告したい。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		授業改善については講演を聴いてすぐに効果が現れるものではないと考える。今後、藤村アドバイザーの講話を何度もふりかえり、職員全員で探究型授業をめざして授業づくりを行うことで、全教職員が日常的にも探究型授業を実践できるようになると考える。また、タブレット端末についても、手段として活用できるようになると考える。	
アンケートの内容と分析結果		講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
		アンケートを行いました。まだ集計中です。集計後、再度内容を送らせていただきます。また、授業改善については、今後分析していきたいと考えています。	
4-3. 今後の計画		最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿		自分で考え、適切な判断をしより良く生きていける力を子どもに培うこと、全教職員と子どものICT活用能力が向上し、子どもたちを支える保護者、祖父母を含む地域住民にも情報活用能力が汎用され、より適正に情報を扱えることにつながり、幸せな生活を送ることができることを最終目標とします。	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可			
掲載許可		☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください			
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子			
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。			
 7に月予定している校内授業研の授業者の授業  幌向小学校と豊中学校の教員に向けた講義			